



2023年8月1日 末長こぐま保育園
めろん組担任

暑い毎日が続いていますが、子どもたちは『先生! 今日も、水あそびするんでしょ?』と、嬉しそうにプールバッグを持ってたずねに来てくれています。

水あそび開きの頃には、水の飛沫が少しかっただけでも嫌がって涙がでることもありましたが、でも、水あそびの経験を重ねていくうちに、自分からペットボトルやゼリーカップを使って、積極的に水に触れながら喜んで遊ぶようになりました。特に成長を感じるのは、水車あそびです。どういうふうにかけるとよく回るかとか、大きな仕掛けで遊ぶには一人より友だちと一緒にの方がいいんだねとか、工夫したり協力したりして遊ぶようになりました。

夏にしかできないあそびを満喫できるように、体調に気をつけていきたいと思います。



生活の様子

大好きな水あそびに早く行きたくて、9時前になるとすすんでおもちゃの片付けやおやつの用意に取り掛かっています。そして、牛乳を飲み終わると自分でプールバッグを取りに行って、着替えを始めるようになりました。

とても時間がかかっていた着替えも、少しずつスムーズになってきています。早く用意が出来た子どもは、帽子を被ってプールバッグを持って座って待っているのですが、『○○ちゃん、早く着替えようよ』等と友だちを誘ってくれています。先生の誘いより、友だちの声の方が効果があることも増えています。

『自分でやる!』を応援するには…

水あそびが始まってから『早く遊びに行きたい』との気持ちが強くなり、自ら準備や着替えに取り掛かれるようになりました。せっかく芽生えた意欲ですが、小さすぎるTシャツや肩のボタンが留めてあったり、ラッシュガードのファスナーが閉めてあったりで着脱しにくいと、気持ちが萎えてしまいます。

大人の感覚で美しくきれいに畳むより、子どもが取り掛かりやすいように着脱しやすい環境を整えてあげることが、自立への近道かもしれませんね。

あそびの様子

雨の日や暑すぎて外に出られない時に、夏まつりごっこの製作あそびをしました。先生がアイス作り始めると『何してるの?』と集まって来ます。『お祭りごっこのアイスを作ってるの』と答えると『やりたーい!』『青いの作りたい!』等と意欲的に参加してくれました。すぐに興味を持てなかった子どももいましたが、友だちが作る様子や完成した作品で遊ぶ姿を見ると、やってみたい気持ちも芽生えてきた様です。自分達で作った物を使って、『いらっしやいませ』とお店屋さんごっこのやり取りも聞こえるようになりました。



- 子どもが自分で着替えることが増えてきました。服や紙パンツが迷子にならないように、全ての持ち物に記名をお願いします。お名前スタンプをお使いの方は、スタンプインクの補充もお忘れなく♡
- プールバッグを自分で持ち運ぶようになりました。進級時に備えて、そろそろ登降園時の荷物を自分で持つ練習に入れる頃かと思います。まずは、紙パンツ等の軽い物のみが入った体にあつたリュックを自分で背負うことから始めてみませんか? 階段があるので無理のない範囲で、側でサポートもお願いします。